

令和5年度 第8回 岩村地域自治区運営協議会役員会

日 時 令和5年12月22日(金) 19時30分
場 所 岩村コミュニティセンター大ホール

1. はじめに
2. 会長あいさつ
3. 恵那市議会議員あいさつ
4. 岩村地域自治区運営協議会役員会議題
 - 1) 消防団の現状説明について(岩村消防団) 資料1
 - 2) ラリージャパン2023開催報告について(まちづくり企画部) 資料2
 - 3) 岐阜未来遺産について(観光交流課) 資料3
 - 4) 岩村地域自治区運営協議会倉庫建設に係る市有地使用について 資料4
 - 5) 半分青いロケセットについて 資料5
 - 6) 令和6年度行政各種審議会等の委員の選出について 資料6
 - 7) まちづくり懇談会の開催方法について
5. 報告事項等
 - 1) 恵那市の人口と出生数 資料7
 - 2) 本通りの舗装修繕について
 - 3) 普通河川浚渫要望について 資料8
 - 4) リニア中央新幹線工事に伴う恵那市内発生土運搬計画について 資料9
 - 5) 石室千体仏御開帳について
 - 6) リニアまちづくり講演会について
1/18 18:30~20:00 恵那文化センター集会室
 - 7) 恵那市制二十周年記念第34回恵那市伝統芸能大会について
1/14 10:00~16:00 恵那文化センター
6. その他

第9回岩村地域自治区運営協議会役員会

令和6年 月 日() 午後7時30分 岩村コミュニティセンター

恵那市消防団 岩村分団
 団員数の推移について(2010年度以降)

年度	退団者	入団者	増減	総人数	2010年度 対比
2023	7	2	△ 5	63	39.1%
2022	11	5	△ 6	68	42.2%
2021	7	1	△ 6	74	46.0%
2020	11	0	△ 11	80	49.7%
2019	16	4	△ 12	91	56.5%
2018	10	1	△ 9	103	64.0%
2017	3	6	3	112	69.6%
2016	11	3	△ 8	109	67.7%
2015	20	9	△ 11	117	72.7%
2014	15	5	△ 10	128	79.5%
2013	13	5	△ 8	138	85.7%
2012	16	6	△ 10	146	90.7%
2011	13	8	△ 5	156	96.9%
2010	10	7	△ 3	161	100.0%
	163	62	△ 101		

フォーラムエイト・ラリージャパン2023 開催報告

1. 恵那市内走行日 2023年11月19日（日）

2. 恵那市内来場者数 31,400人
 【内訳】観戦エリア 4,600人
 リエゾン応援会場 26,800人

※観戦エリア及びリエゾン応援会場の詳細

■観戦エリア

① S S18/20 Ena City : 計6エリア

(山岡駅観戦エリア、イワクラ公園観戦エリア、田沢観戦エリア、ヘアピン観戦エリア、明智観戦エリア、恵南林道観戦エリア)

② S S19/21 Nenoue Kougen : 計1エリア

(根の上高原観戦エリア)

■リエゾン応援会場

岩村リエゾン応援会場、明智リエゾン応援会場、東野リエゾン応援会場の計3カ所

※大会全体来場者数（速報値）

有料観客席来場者、イベント会場、沿道応援すべてを含め、536,900人

3. 各エリアの状況



山岡駅観戦エリア



イワクラ公園観戦エリア



田沢観戦エリア



明智観戦エリア



恵南林道観戦エリア



根の上高原観戦エリア



岩村リエゾン応援会場



明智リエゾン応援会場



東野リエゾン応援会場

岐阜未来遺産事業の進捗状況について

【令和5年度】

1. 専門家招聘事業

(1) アレックス・カー氏

- 岩村町内の視察及び観光まちづくりに関するアドバイス【実施済】
- 観光まちづくり講演会を実施 令和5年10月21日(土)【実施済】
- 岩村城下町内の町屋改修場所の選定・計画【実施中】

(2) クリス・グレン氏

- 看板の多言語化及びWEBサイト制作に関する視察【1月実施予定】
- 歴史的な観点での講演会【2月実施予定】
- 観光体験コンテンツ、英語版観光WEBサイト、看板多言語化に関するアドバイス【1月実施予定】

2. 観光パンフレット及びWEBサイトリニューアル

日本語版観光パンフレット及びWEBサイトのリニューアルを実施【4月予定】

【令和6年度】

1. 町屋空き家の改修について

令和7年度からの完成を目指した改修設計を行います。

2. 看板の多言語化改修整備

老朽化等で不必要となった看板の撤去及び既存看板の多言語化を実施する予定です。

3. 体験型観光コンテンツの強化

レンタルサイクルやいわむら五っこ等をはじめとした体験コンテンツの販路拡大やインバウンド観光客に対する受入態勢の整備を行う予定です。

4. インバウンド向けガイド育成

専門家を招いて、海外からのお客様のおもてなしについて勉強会を実施予定。

5. マーケティング強化

デジタル的な手法を用いた観光マーケティングの導入を図ります。